

会議要旨

会議名	平成21年度第3回甲州市行政改革推進委員会
議 題	(1) 会議の進め方について (2) 第1次甲州市行政改革大綱・甲州市改革推進プログラムの進行状況について (3) その他
開会日時	平成21年10月26日 午後1時30分～3時
開会場所	甲州市役所第二会議室
出席者名	◎中村委員、○塩野委員、雨宮委員、日原委員、三森委員、矢崎委員 長瀬総務企画部長、手塚政策秘書課長、藤枝課長補佐、中村主幹
議 事	
<p>【会議内容】</p> <p>○ 会長 ただいまから第3回行政改革推進委員会を開催する。答申案の内容について事務局に説明を求める。 (事務局が答申案の内容について説明する。)</p> <p>○ 会長 事前に答申案を送付させていただいた。各委員の意見も参考に見直しも行っている。答申案の大きな変更はないが、答申案に対する意見があれば伺いたい。</p> <p>○ 意見もないようなので、本案を答申として決定としてよろしいか。(異議なし)。では、全員の賛同を得たので本案のとおり決定したい。事務局にお願いしたい。行政改革については、鋭意取り組んでいただいているが、厳しい財政状況の中でもあり、更なる努力をいただきたい。本日は市長に答申書を渡したい。ここで暫時休憩する。 (休憩時間に答申書を市長に手渡す)</p> <p>【懇談】</p> <p>○ 市長 日ごろから市政に進展にご苦勞を賜りありがたく御礼申し上げる。委員会においては、行政改革の推進に向けてしっかりとした基礎をつくってきた4年間であったが、答申書を見せていただくと、一定の評価をいただいたと理解している。しかしながら、まだまだ課題は多いので、答申書の内容、市民の視点を大切にしながら更なる行政改革に取り組んでいきたい。皆さんのご議論は力強く思っている。今後、答申に基づいて、しっかり全力で改革に取り組んでいく所存である。できることは明日と言わず、今日から取り組み、全職員とともに改革に取り組んで生きたい。各地域で市民懇談会も開催したところであるが、市民の声を行政運営に生かしながら、市民の英知を結集してまちづくりを推進し、豊かな自然、歴史と文化に彩られた果樹園交流のまちを実現していきたい。国も政権交代となり、これまでと異なることも多いが、いち早く情報を得ながらまちづくりを進めていきたい。インフルエンザもはやってきているが、健康に留意してご活躍いただきたい。</p> <p>○ 会長 これまでの委員会の中での検討内容を踏まえて、意見があればいただきたい。厳しい財政の中で、職員が身を切って報酬、手当ても削減している。市民とすれば</p>	

ありがたいことであると思うが、職員の士気にマイナスの影響を与えてはいけな
いと思う。

- 市長 厳しい財政状況の中、手当でのカットについては、職員には理解をいた
いでいると思う。イベント等が集中する課とそうでない職員の差もあるので、そ
うした問題を考えていかなければならないと思っている。
- 委員 勤務評定はどうなっているのか。貢献している職員には表彰するなど
して、やりがいをもってもらうことも必要ではないかと思う。
- 市長 職員が意欲を持って職務に望むことは、市民サービスの向上にもつな
がることだと思う。職員の評価は難しい課題であるが、現在、人事評価制度の
導入に向けて検討しているので、その中で対応していきたい。
- 委員 市民の意見を聞きながら行政を進めていくことは重要だが、市民の中
には大勢の前で話をするのが出来ない人もいる。地域の自立支援センターの運
営にも関わっているが、知的障害者に対する就労機会が少なくなっている。そ
のことを話す機会も少ないと思う。弱者の声の吸い上げる手法も検討してほしい。
自立支援センターの商品を公共施設で販売してもらっており、ぶどうの丘でも販
売してもらっているが、今後も引き続き地域施設の商品を積極的に販売してもら
えるよう対応していただきたい。
- 市長 市民懇談会には同じ方が参加される傾向もあると思う。参加できない
方の声なき声の吸い上げ方法についても考えていきたい。施設運営を支援する
意味からも、ぶどうの丘等での商品販売も積極的に対応していく。
- 委員 大和村の当時は、結婚50周年、60周年時に村が夫婦の写真を撮って
くれたりしていた。甲州市になって無くなったが、例えば市から葉書が来る
ことで50周年を祝うことができるのに、という話を聞いた。何らかの対応が
できないか。
- 委員 神金地区では、いままでは神金地区の公民館活動で実施していたが、
今年度から敬老会実行委員会を組織する中で50周年の方を祝っている。市
にも負担を掛けてはいけなないので、自分たちの負担の中で実施している。
- 市長 一年にどのくらいの方が金婚式を迎えるか調べてみたい。50組くら
いはあるのかなと思う。いろいろな方法があると思うので検討してみたい。
- 委員 市が実施するというより、市は各地域の活動を紹介することでもい
いと思う。
(市長退席)

【再開】

- 会長 再開する。その他について事務局から報告を。
- 事務局 現在事務事業評価を整理しているので、その内容に対して意見を
いただく機会を設ける予定である。
- 委員 人事評価であるが、21年度はどんな状況なのか。
- 事務局 ここでコンサルタントと打ち合わせを行った。具体的に個別評価
の手法等、具体的な作業に入る状況である。導入に向けてはまだ整理が必
要なので、今年度、試行に入る予定であるが、これを期末手当等に反映
させるには、もう少し先になると思う。職員間の信頼関係の構築が前提
でないとうまくいかないと感じている。公

務員制度の中で導入が決まっていることなので、職員を区別するのではなく、いかに士気を奮い立たせるか、それが評価されるような制度にしていきたいと思うので、いましばらく時間をいただきたい。

○委員 計画書では 22 年から実施となっている。非常に難しい問題であり、行政改革で実施する意気込みはわかるが、難しい問題だと思うので慎重に実施してほしい。

○会長 以上で議事を終了する。

決定事項等

○市長への答申

○次回は、事務事業評価シートの説明を行う。期日は追って連絡する。